

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 20 No 1

222号

平成24年 1月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

あけまして
おめでと
ございます



今年もよろしくお祈りします

院長・スタッフ一同

新しい年に向けて-2012-

院長

毎年恒例ですが、新しい年に向けてと題して昨年を振り返ってみます。

昨年は東日本大震災という、想像だにできなかった大きな災害が3月11日に発生しました。未だに記憶に鮮明に残っています。14:45頃、突然の大きな揺れが襲いクリニックはパニックに包まれました。幸い患者さんは少なく、わずか4組のみでした。クリニックは耐震基準もクリアし、平屋みたいなものだったから、ある程度安全は確保されているとの思いはありました。しかし長い時間の揺れが収まる気配が無く、心の片隅では“つぶれる”との思いも起きてきたことは事実です。地震とともに停電が起き、外界の情報からはいっさい遮断されてしまいました。周囲の状況を知らないスタッフと患者さんたちは、地震が落ち着きはじめた頃から笑顔もみられるようになりました。その後状況が明らかになるにつれ、安堵の気持ちはいつしか暗い気持ちに変わっていたことを今もはっきりと覚えています。状況を伝えるラジオを聴くたびに、現実が明らかになり、更なる不安が高まってきました。結局、被害は想像を超えるほどはるかに大きく、被災による犠牲者は、死者15844人、行方不明者3450人(警視庁:1月5日)となりました。クリニックからは、地震直後からTwitter、続いてBlog、メールニュースで情報発信を行ないました。また小児科医会会長として、小児

科診療情報、避難所巡回や医療物資搬送などに取り組み、情報発信や医会の活動に対して、様々なところから高い評価をいただきました。

大きな暗い暗い出来事で本当に落ち込んだ一年でしたが、クリニックと自分にとっては、例年になく明るい話題が盛りだくさんでした。それぞれの内容については、この一年CLINIC NEWSで紹介してきたので参考にしてください。主だった明るい話題を列挙してみます。1月仙台市医師会学術奨励賞受賞。2月日本医師会医療情報システム協議会シンポジウム「ITからICTへ-より暖かいコミュニケーションを目指して-」。6月日医生涯教育協力講座セミナー(山形)「ワクチン普及に向けて-クリニック・仙台小児科医会の取組み-」、さらに宮町~幸町メディカルロード研究会「開業理念に基づく子育て支援活動-様々試みを通して-」。7月大崎市民病院小児医療に関する講演会「開業理念から生まれた子育て支援-ITとコミュニケーション-」。8月日本外来小児科学会には震災関連のパネル「東北地方太平洋沖地震を経験して-震災レポート-」、院内報「かわむらこどもクリニックNEWS」の展示と一般演題2題「髄膜炎関連ワクチン並びに同時接種見合わせ後の保護者の意識調査」、「東日本大震災における小児科医の役割と情報発信の重要性」。「髄膜炎関連ワクチンの意識調査」で優秀演題賞受賞。10月無事還暦を迎え、多くの御祝いに囲まれ、スタッフからの紅い薔薇を頂き幸せを感じることができました。そしてオープン病院秋季勉強会では森永卓郎氏の座長を務め、「森永氏と対等に渡り合っていた」との評価も頂き満足でした。更には宮城母性衛生学会の教育講演「新生児医療から生まれた子育て支援」。小児科医として半生の生き様を夢にまで見た“赤ん坊時代の写真”を使用しての講演。11月東北・北海道小児科医会連合会では3年連続のパネリストで「子育て支援から生まれた震災への対応-情報発信の重要性-」、更には去年最大のイベント「子ども若者育成・子育て支援功労者内閣府特命大臣表彰」。総理大臣官邸に招かれ野田総理隣席のもと、蓮舫大臣から直接表彰状を手渡され感慨ひとしおでした。蓮舫大臣とのツーショットも素晴らしい思い出のひとつとなりました。1月6日の仙台市医師会新年会では、子育て支援功労者のお披露目があり、昨年の医師会学術奨励賞と2年連続でひな壇に上がりました。

昨年は震災で暗い一年でしたが、還暦を迎えた年に多くの講演を依頼され、一生で一度(?)の素晴らしい表彰を頂けたことは嬉しい限りです。これもひとえに、多くの方々のお力添えのお陰です。ご支援に応えるためにも、ますます精進を続けていく覚悟です。これからも、よろしくご支援お願いいたします。

休診の案内 1月のお知らせ

1月14日(土) 午後休診となります。

・医学生実習

1月13日(金)

よろしくご協力をお願いします

・栄養育児相談

1月18日(水) 13:30~

栄養士担当 参加無料



『がんばろう! 宮城 がんばろう! 日本』
“みんなでやれば、大きな力に”

あけまして おめでとう ございます

昨年、人と人との繋がり、心の温かさを感じた一年でした。「こころは誰にも見えないけれど、こころづかいは見える...」今年、みんなが笑顔でいられる様に、「見える気持ち」思いやりのことを大事に日々過ごしたいと思います。
 婦長 中米 由美子

昨年は、まわりの人の優しさに支えられた一年でした。今年はそのお返しを少しでもして行ければ良いなと思っています！
 事務 福地 あさか

今年は、今まで以上に、人の繋がりを大切にしたいと思います。昨年、色々な方にお世話になった事に感謝して、明るく楽しく過ごせますように☆
 事務 道端 ちひろ

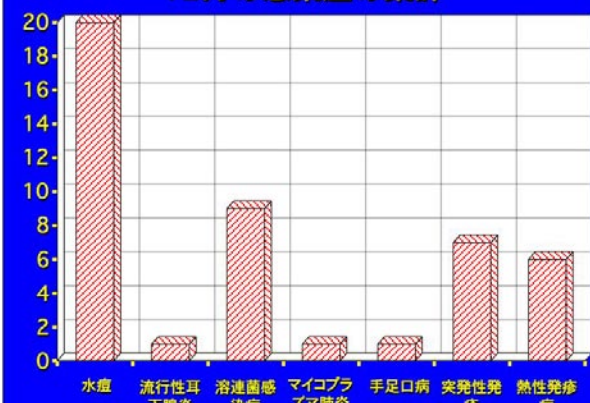
とにかく今年は、みんなが平和に過ごせたら何も言うことありません！でも[健康]と[備え]も大切にしたいですね♪
 看護師 佐藤 陽子



読者の広場

先月は22通のメールを頂きました。まずは泉区の浅野さんさんからのメールを紹介します。「こんにちは。浅野花みち、花怜の母です。川村先生、スタッフの皆様、今年も大変お世話になりました。クリスマス会もとても楽しかったです!(ヒョウ柄のステキな靴のことが参加できなかった。ときくんのおかあさんと話題になりました(^.^))。今年は花怜の耳ろうごうの件で年初めからお世話になりました。おかげさまで今はもうすっかり大丈夫です。春先の震災、先生からいただくクリニックニュースでとても助がり・安心してすごせました。あのような事態の中、休みなくクリニックを開かれていたことに感謝の念でいっぱいです。最後になりましたが、子ども若者・子育て支援功労者受賞、本当におめでとうございました。(予防接種などでお会いしたとき、お忙しそうでなかなか言えず...すみません。)。来年も子どもたち共々、よろしく願っています。それではどうぞよいお年をおむかえください!」。メールありがとうございます。東日本大震災の時、情報を発信して役立っていたとのメール、子育て支援功労者表彰へのお祝いの言葉、ありがとうございました。これからも、皆さんの役に立つように精進したいと思います。続いて青葉区の石鍋さんからのメールを。「いつも大変お世話になります、青葉区石鍋悠太の母の淳代です。先日は素晴らしいクリスマス会を開催頂き、本当に有難うございました。今年も先生、スタッフ・薬局の皆様、保護者の方々による心のこもった素晴らしい会でしたので、子供だけでなく、親までも楽しませて頂き、あつという間に時間が過ぎていきました。私達親子が初めてお母さんクラブに参加させて頂いたのは一昨年のクリスマス会でした。お母さんクラブに興味をもっていたものの、入会する方法が分からず、窓口で申し出たところ、クリスマス会のご案内を頂き、ときどきしながら参加しました。思わず笑ってしまうショーやゲーム、おやつタイムに写真タイム。盛りだくさんの内容に驚きましたが、何より驚いたのは先生を中心とし、スタッフの方々、薬局の方々の結束が固く、一丸となつて会を盛り上げようという工夫されていることでした。また風邪やインフルエンザが流行する忙しい時期にもかかわらず、細かく丁寧に作られたクリスマスカードや、身近なもので作られた見事な作品を一人一人にご用意くださり、子供達の笑顔のために努力される皆様に感銘を受けました。今年はバリエーション豊かなショーに子供達がみんな楽しそうに参加し、息子も遅ればせながらもそれぞれ少しずつ参加しているのを見て、とても嬉しかったです。笑顔いっぱい、お楽しみいっぱい、お腹いっぱい。いつもお世話になりつばなしのクリニックから今年もまた”おもてなし”を頂いてしまいました。今回初めて参加した友人は、想像以上にあたたかい雰囲気の会に感激し、かわむらこどもクリニックというところをより深く理解したようでした。先生、スタッフ・薬局の皆様にご心から感謝申し上げます。」ありがとうございます! 当院の活動を理解してくれて、本当にうれしい限りです。

12月の感染症の集計



水痘と溶連菌感染症は横ばい。グラフには示していませんが相変わらず感染性胃腸炎が多く55人、インフルエンザは11月の28人から83人に急増しています。マイコプラズマ肺炎の確定例は1例のみでしたが診断が難しいためもっと多いかもしれません。年末年始の急患センターは大混雑でした。これから、インフルエンザの流行が拡大しそうな気配です。

子ども医療費助成に関して

H24年1月から助成年齢が拡大されました。それに伴い、一部負担金が徴収されます。負担が増えますが、多くの子どもたちが恩恵を受けることとなります。お子さんの未来への投資と考えてご理解をお願いします。詳しくは院内掲示を。

一部負担金(通院)は、次の通りです。

3歳未満 負担なし(従来通り)

3歳から小学3年生まで 初診時500円
 よろしくご理解をお願いいたします。

年賀状 ありがとうございます

今年もたくさんの年賀状を頂き、ありがとうございます。本来は御返事を差し上げるところですが、この場を借りてお礼を申し上げます。

院長・スタッフ一同

Mail News, Twitter, Blog の紹介

Mail News は、震災を切っ掛けに370人を超えるお母さんが登録しています。右上のバーコードから「登録希望」と登録者、お子さんの名前を送信してください。携帯用HP(左のバーコード)でMail News と Twitter も読めます。両方で情報を提供していました。Blog(右下バーコード)では、東日本大震災の取組み・活動、放射能やワクチンの話題を提供しています。是非お読みください!

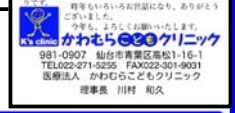


健診・予防接種時間帯の変更

月、土曜日を従来通り
 14:00 ~ 14:30 に変更します。

編集後記

昨年の大活躍の自分へのご褒美として、年末年始はゼブ島の友人を訪ねました。寒い日本とは打って変り、青空のもとゴルフとダイビングで、すっかりリフレッシュしてきました。また先日仙台市医師会の新年会に招かれ、子育て支援功労者内閣府特命大臣表彰のお披露目もあり、新しい一年もすばらしい始まりでした。心機一転、気を引き締めて頑張りたいと思います。



『お母さんクラブ』は、9月から再開しました。楽しいことも大切です。是非ご参加を!!

震災でのクリニックの対応・院長の取組み・患者さんからのメール・被災状況は、Blog「こどもクリニック四方山話」で!!